

・ICT化遅れによる問題点

Q. 今年度娘が区立学校に入学したが、入学にあたり学校からのお知らせ方法が、私が小学生だった30年前から何ら変わっておらず驚いた。

保育園で利用されていたコドモンアプリでは、学校からのお知らせ配布、体温管理、欠席連絡、すべてアプリ完結であった。災害時にもアプリであれば被害状況や引き取り連絡、休校案内も全生徒向けに一括送信できる。現状、学校で採用されている電話での連絡網で、大震災の際に全員に連絡が回ると考えるのはあまりにも時代遅れだと感じる。

子どもの安全、教育の質を担保するためにも、ぜひシステム導入を検討してほしい。現状についてどう考えているのか聞かせてほしい。

A. 入学時に登録していただきましたメールアドレスは、主に緊急連絡時に使用する目的で導入しており、現時点では学級単位での活用には至っておりません。今後、利便性向上のため、各学校の要望を踏まえ活用の検討をまいります。

学校だよりや学年だよりのようなお知らせにつきましては、一部の学校において試験的に一斉メールを活用した取り組みを行っておりますので、当該校にその状況を情報提供してまいります。また、紙媒体による学校だよりは、ご家族と一緒に読んでいただきたいことや、学年によってはお子さんにも理解してほしいという学校の意図もあります。今後もアナログとデジタル、それぞれのメリットを考慮してお知らせの配布方法等を検討してまいります。

欠席や遅刻等の連絡につきましては、昨年度より全ての学校で電子化を実現しておりますが、スマートフォンなどの端末をお持ちでない方にも配慮し、1年生のタブレット端末の準備が整うまで、連絡帳の活用をお願いしているものです。ご不便をお掛けいたしますが、端末の準備が整い次第、欠席等の連絡が電子により可能である旨をお知らせいたします。また、朝は欠席の電話連絡をしないようにとのことでしたが、電話連絡も可能にするよう当該校に伝えました。

現在、学校と家庭をつなぐアプリやサービスが複数あることは把握しております。他自治体の運用も参考にしながら引き続き導入について検討してまいります。

今後とも、品川区の教育活動が充実するよう努めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、何卒よろしく願いいたします。

(教育委員会事務局教育総合支援センター)